全医労保育所ニュース

子どもを真ん中に、保育所職員・保護者・組合が手を取り合い運動をすすめよう

第44回保育所会議に70人が参加 揺るぎない過半数組織をめざそう

全医労は6月13～14日に浅草セントラルホテルで第44回保育所会議を開催しました。前日の13日には機構本部要請を行い、地区・地方協代表・傍聴含め70人（＋子ども2人）が参加。今後の運動の意思統一を行いました。

南和歌山はまゆう保育所からのプレゼントびっくり箱と一緒に記念写真

保育所機構本部要請

会議に先立ち12日には地方協代表による国立病院機構本部へ要請を行いました。

日本医労連の煙﨑中央執行委員を先頭に11人が参加。冒頭、「医師・看護師確保対策の強化と院内保育所の充実に関する」要請書を提出しました。国立病院機構として保育所運営に責任を持ち、良質な保育と職員の賃金・労働条件を保障する公正な委託業者選定に向け第二共済組合に要請するよう訴えました。

保育所会議in浅草

翌13日には東京・浅草セントラルホテルで保育所会議を開催。

桶谷書記次長の司会で始まった1日目は、岸田委員長の挨拶、中丸副委員長の基調報告、日本医労連の煙﨑中央執行委員から前日の機構本部要請の報告が続きました。さらにDVDによる実技研修、分散会と盛りだくさんの内容でした。

全体討論で

全体討論では10人の方から活発な質問発言が続きました。

「千葉医療センター『つばき保育園』の新制度認可保育所になった経過を知りたい」「三重県榊原病院『しらゆり保育所』の閉園延期は、全医労と病院職員が一体となった運動の成果。園児確保に向けがんばっている」「静岡富士病院の廃止で『さくらんぼ保育所』も危機にさらされている。こんな素晴らしい保育所は見たことがないと言われている。『さくらんぼ保育所』を守るために『富士病院』廃止反対運動を」。

また、「どうしたら実のあるビジョン交渉ができるか」「開園時間の延長や夜間保育導入にあたっては保護者も巻き込んだとりくみを。そのために保護者の拡大が重要」「プロジェクトチームの活用に期待」「ビジョン交渉で調理師手当を上げたい。資格手当は平等に」「職員の契約化を早急にすすめたい」「保護者の立場で参加した。ビジョンとの契約更新や保育士の低賃金のことをほとんど知らない。保護者としてできることは協力していきたい」等々発言が続きました。

運動の意思統一

千葉医療センターの『つばき保育園』については、ピジョンの一括委託のまま、新制度の千葉市認可保育所として２０１５年４月にスタート。補助金の詳細は不明ですが、申請にあたり膨大な資料提出と園長への厳しいヒアリングなどがあり、人件費分の補助もあり、賃金はアップすることを聞いていると報告がありました。また、認可に伴い新たに７人の職員が採用され、新園長も含め全員が全医労に加入したことも報告されました。

本部も議論に参加し「機構は『院内保育所は今のままでいいのか、補助金獲得に動いているか、新制度に向けて動いているのか』等について調査を行い、非公開だが、大した成果はなかったと聞いている。問題意識は持っているようだ」「新園舎の建て替えは支部と地方協・本部とリンクして実現していきたい」「プロジェクトチームは、大会決定後10月初旬に召集。まずは交渉戦術の議論と委託業者入札決定の動きに合わせた署名提出が目標。保育所の課題を整理して、支部・地方協・本部の連携を強めたい」と答弁がありました。

また、今回の会議には４月に開園したばかりの山形病院『にじいろ保育園』の仲間も参加し、「４人の保育士が全員加入、これから色々勉強していきたい」と挨拶があり、参加者から歓迎と激励の拍手が贈られました。

続いて、東海北陸地方協保育所会議で学んだ「わらべうた」実技研修のＤＶＤを見ながら全員で歌って実践。

さらに３つの分散会に分かれて各保育所で抱える問題を出し合いました。

子どもを育むわらべうた

「このこ、どこのこ、かっちんこ～♪」手をつないで。

高松さくら保育所卒園児・みるくちゃん

「おつむてんてん♪」

今会議の実技研修はＤＶＤを見ながら、東海北陸地方協の古沢先生、飯田先生らのリードで「わらべうた」を歌って実践。ＤＶＤは東海北陸地方協の保育所会議で行われた、霜康代さん（名古屋コダーイセンター）の実技指導をＤＶＤにしたものです。

「ゆすらん、かすらん」「このこ、どこのこ、かっちんこ」「トウキョウト」など、隣り同士手をつないで、名前を呼び合ったり、二人で向き合って歌いながら楽しく身体を動かしてみました。「ゆすらん、かすらん」では、赤ちゃんを抱っこしながら子守唄のように歌ってゆすったり、大きい子だと縦に抱いて大きくゆすったりと応用ができます。

コダーイ・ゾルダーンはハンガリーの作曲家・民俗学者・教育学者で、「全ての人が音楽的教養を身につける」ということは人々が音楽を通して美しいこと、良いことを体験し、人の和をも音楽の中で培っていこうということを意味し、その原点に「わらべうた」があるそうです。

アンケートでは「しっかり講師を呼んでほしい」「ＤＶＤは残念」との声も多かったものの、「みんなで手をつなぐことで『仲間意識』が生まれた」「ＤＶＤはわかりにくかったが、名古屋の先生がリードしてくれて一緒に楽しめた」「飛び入りの先生の参加もあり良かった」「集団遊びの中でも取り入れたい」との声もあり、皆で楽しい時間を共有できました。

今回、日程と予算の関係上、指導者を呼ぶことができずご迷惑をおかけしました。東海北陸地方協の皆さん、ご協力ありがとうございました。

分散会で語り合い

保育所会議1日目後半の分散会では、各保育所の抱えている問題、院内保育所存続・拡充のとりくみの具体化、組織拡大と要求の実現について議論を深めました。

第1分散会

第1分散会では、自己紹介の後、各園の問題や悩みが出され、「園長が砂を買い込んでいる」「毛虫が出る」「猿出てくる」ことにエッと驚きが湧き、「園から遠いところに駐車場があてがわれた」「地域の保育料の低いところに行ってしまう」「親の週休日に子どもを預けてくる」など〝あるある〟話が続きました。

契約社員(保育士)が辞めるとパート(保育士)が採用され、「何回も同じ説明をしなければならないので困っている」ことや、「7時間パートは延長もあり実質上契約社員と同じ」という問題では、「何年も契約社員にするよう要請しているがピジョンは病院がうんと言わない」と改善がすすまないため、園と支部と地方協と本部が連携して窓口で訴えていくことにしました。

また、自治体の補助金やどうしたら園舎が新築されるかの質問に現状が報告されました。

まとめでは、要求実現のための要請先は、ピジョンなのか病院なのか第二共済なのか全体を皆でしっかり把握して、団交のやり方もキッチリつめながら進めていくことを確認しました。

第1分散会

第2分散会

第2分散会では、まず茨城県の茨城東病院「ひまわり保育園」閉園で千葉県の下志津病院「こじか保育園」へ異動した齋藤さんから、組合員はゼロだったが、少しずつ交渉の成果などを伝えて、5人加入に結びついた発言があり参加者一同元気をもらいました。

続いて、「保育新制度を活用してくれないかと地域から要請があったが、病院職員の園児が多く、手続きが面倒とのこと。乗っていいのか、悪いのか不安」「院内の子が減り、園だよりや制作物を掲示板に展示してアピールしている」「院外の子を預かると、地域へのアピールができる」などの発言もありました。

ハンセン病保育所「するが保育所」の参加者からは、「直営で40周年を迎えた。山の上にある保育所で子どもを産む人も少ないが、将来構想とあわせて保育所を守るため、地方協と連携してがんばっている」と報告がありました。

また、各園の夜間保育の実態や長良から365日開園の状況、保育料の問題で支部も働きかけで解決したとの発言もありました。

第3分散会

第3分散会では、保育士の人手不足の問題や、「夜間保育を開始したが、利用者はゼロとなり、要望の強かった『病児保育』を施設が実施。外来の看護師が看ているが、子どもは保育所に預け熱発しても休めない。子育て支援の使い方が間違っている。しわ寄せが子どもにきている」「プレハブ園舎で室温が30度を超えるがエアコン設置されていない」「建物がゆがんでいて玄関の戸が開けにくい」「夏休み中などの学童保育はどうしているか」などの問題が出されました。

看護師の労働強化が保育所職員の労働強化に直結しており、夜間保育や延長保育が広がっている。子どもの視点に立った保育のあり方を見直し、エアコンや施設整備についても、支部からの要求書提出や、安全衛生委員会を活用し、支部と連携して改善しようと確認しました。また、学童保育やリレー保育はすでに実施している保育所も多くあり、保育委員会等で規約を定めていることがわかりました。

新制度は、病院側も注視しており、可能なら認可園に向けて動きたいという保育所もありましたが、地域の子を受け入れることで、職員の子の受け入れ制限がないよう機構も考慮すべきだという前日の機構要請での機構の見解も報告されました。

初参加者も多く全員が発言。世代交代で保育所運動の伝承の大切さ、支部との連携、組織拡大の重要性が話し合われました。中でも「保育所の存続は、お母さんの意識も重要。自分たちの保育所だということを伝え協力を訴えよう」と発言があり、しっかりと意思統一ができました。

保育新制度を学んで

翌日は朝一番に講演を受け、みんなで保育新制度について学びました。講師は全国保育団体連絡会の実方伸子事務局長。「新制度で院内保育所はどうなるの？」と題し、新制度のしくみとより良い保育の実現を求め、私たちがとりくむべき課題を示して下さいました。

講演/全保連・実方伸子さん

各分散会報告

講演の質疑・討論の後は、各分散会報告を行いました。第1分散会を天竜支部の土屋さん、第2を浜田支部の山元さん、第3を南和歌山支部の久保さんが報告しました。

「各園の特徴で保育料や勤務体制なども出され、問題を共有し考える機会ができた」「下志津の拡大や南岡山55年の歴史は組合があったから一つひとつ問題解決をはかって来られたのだと感じた」「委託更新に向けてのとりくみを話していきたい」「子育て支援が本当に子どものため、お母さんのためになっているか考えさせられた。歴史伝承も含め、保護者・保育士・組合が一緒にとりくむことが大事だ」など、それぞれが話し合った内容をまとめ、感想を交えて報告がありました。

天竜・土屋さん

浜田・山元さん

南和歌山・久保さん

初のリレートーク

続いて、初の試みとして参加者全員によるリレートークが行われ、感想や決意などが語られました。

「全医労が大事だと改めて思った」「歴史を絶やさぬよう伝えていきたい」「初めて組合が何をしているのかわかった」「保護者と一緒にできることをやっていきたい」「全国の保育所の実態がわかった」「機構本部要請は言い続けることが大事」「組合の大切さを肌で感じた」「初めて参加したが、エネルギーをもらった」「100%加入をめざしてがんばりたい」「新制度について勉強できて良かった」「どの園も同じ問題に直面していることがわかった」「九州で2つの空白保育所が解消できて嬉しかった。プロジェクトチームに期待したい」「他園の保育士さんと交流ができて楽しかった」等々、参加した皆さん一人ひとりが堂々と感想を述べ、温かく確信に満ちた雰囲気に包まれました。

マイクを回してリレートーク

本部まとめ

最後に佐藤書記長がまとめを行いました。

＊8月1～3日に開催される全国保育団体合同研究集会（合研）への結集について通知を出して呼びかけたい。集会中に行われる保育士処遇改善・戦争法案反対のパレードについても連絡する。

＊地域医療介護総合確保基金として、各都道府県に院内保育所補助が下りている県は、栃木・兵庫・大阪・熊本。

＊安倍政権の暴走で戦争法案採決が狙われている。子どもたちを戦場に送らないことは私たちの使命。

＊新制度について、機構の調査では好ましい回答はなかったようだが、活用できるものは制度をしっかり知ってすすめることが必要。

＊院内保育所は、看護師に結婚や出産の自由もなく順番性だった時代から組合とともに作った歴史がある。

＊10月の契約更新、入札に向け、職員の雇用を守り、労働条件を維持させるたたかいが必要となる。9月末までに個人署名、ひとこと署名を集め、支部要求書を提出しよう

＊プロジェクトチームは大会で採択後、保育所の存続のために分析と対策を行い、諸問題を集約し要求化する。各地方協代表の推薦をお願いする。

＊現場では、処遇改善と、園舎の老朽化、猿や台風対策も含め、支部・保護者と連携を取ってすすめたい。

＊全医労は4年連続、全地方協増勢で全国大会を迎える。要に保育所の拡大が力になっている。2月15日の基準日を待たず、10月を見据えて、揺るぎない過半数組織をめざそう。

以上のまとめを参加者の拍手で確認しました。

最後に香月書記次長の閉会挨拶、岸田委員長の「団結がんばろう」のあと、参加者全員の記念撮影で散会となりました。

※　機構本部要請行動および講演内容については次号で報告します。

雇用・労働条件の維持、要求実現！団結がんばろう！

元気で楽しい交流会

13日の夜は、恒例の大交流会。佐藤均組織強化委員の進行で楽しい時間を過ごしました。

まずは、岸田委員長の乾杯。美味しい料理を囲み、歓談しました。続いて、地方協ごとの紹介とテーブルごとに出し物を披露。

香月書記次長、瀬谷組織強化委員から提供のあった商品をゲットすべく、テーブル対抗の出し物は大変盛り上がりました。

今年は北海道と九州、近畿と中国、本部など、地方協混合のテーブル配置としました。おかげで、色々な話ができ、仲良くなれてとても楽しかったと好評でした。

毎年、明るく元気な先生方のパフォーマンスに元気をもらいます。恥も外聞も捨て？！一緒に楽しむ姿はステキでした。

日本医労連の煙崎中執は、機構本部要請から交流会も含め3日間参加し、パワーをいただいたと話していました。

最後に南和歌山はまゆう保育所の先生方から本部に感謝の気持ちを込め、びっくり箱の贈呈がありました。これからも、支部と保育所、地方協、本部と連携を取りながらがんばっていきましょう！

楽しい交流会はあっという間に終わり、中丸副委員長の関東一本締めでお開きとなりました。各々、スカイツリー見学や浅草寺、居酒屋へと繰り出し、東京・浅草の夜を過ごしました。

北や南、西と東の混合テーブル。まずは地方協ごとに紹介！

天竜病院に出没するサル?!

大牟田ふたば保育園・鹿田水羽くん4歳

南和歌山の皆さんありがとう！

北海道・九州の仲間で意気投合♪

中国地方協の皆さん♪

四国地方協の皆さん♪

鬼のパンツはいいパンツ～強いぞ～♪東海北陸地方協の皆さん♪

小林美希著

ルポ　保育崩壊

岩波新書　800円＋税

子どもを預けた先で、何が起きているのか？問題は待機児童だけじゃない！

◎保育所会議で医労連の煙崎中執からもご紹介のあった本です。全医労しんぶんでもインタビューしたジャーナリスト小林さんの最新刊。

◎本部女性部でも取り扱いますので、ご連絡ください。